

宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年9月10日発行

－ 2015.8.31 ～ 9.6 ・ 第36週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第33週	第34週	第35週	第36週
水痘	1 0.20				1 0.33	2 0.40	3 1.50	4 0.15	11 0.19	1,139				○
流行性耳下腺炎		1 0.10						5 0.19	6 0.10	271				
百日咳														
感染性胃腸炎	23 4.60	25 2.50	10 2.00		12 4.00	3 0.60		74 2.74	147 2.49	14,834	○	○	○	○
手足口病	81 16.20	111 11.10	90 18.00	64 32.00	27 9.00	60 12.00	18 9.00	266 9.85	717 12.15	7,824	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		1 0.10	3 0.60			2 0.40		12 0.44	18 0.31	1,486				
突発性発しん	3 0.60	7 0.70	10 2.00	1 0.50	3 1.00	1 0.20	3 1.50	19 0.70	47 0.80	1,349	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	16 3.20	33 3.30	12 2.40	17 8.50	10 3.33	2 0.40	3 1.50	32 1.19	125 2.12	1,619	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ														
咽頭結膜熱					1 0.33	3 0.60		3 0.11	7 0.12	993				レ
流行性角結膜炎		1 0.33						3 0.50	4 0.33	137				
急性出血性結膜炎														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22 4.40	4 0.40	14 2.80	12 6.00		23 4.60		32 1.19	107 1.81	5,252	○	○	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00								1 0.08	3				
無菌性髄膜炎														
マイコプラズマ肺炎	1 1.00					1 1.00	3 3.00		5 0.42	248				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)														
RSウイルス感染症	13 2.60	1 0.10	1 0.20	1 0.50	1 0.33	8 1.60		22 0.81	47 0.80	505		○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)										77				
拡張 病														
マイコプラズマ肺炎(小児科)	8	2		1	3		3	2						
川崎病														
不明発疹症								5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名、女性1名
仙南管内 女性1名
仙台管内 男児[※]3名、男性2名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 男性1名(第34週)
腸管出血性大腸菌感染症(O1)
栗原管内 男性1名(第35週)
腸管出血性大腸菌感染症(O91)
栗原管内 女性2名(第35週)
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
栗原管内 女性1名(第35週)

4類感染症: レジオネラ症(肺炎型)

仙南管内 女性1名
仙台管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性インフルエンザ菌感染症

仙南管内 男性1名(第35週)

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔手足口病〕

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中

〔ヘルパンギーナ〕

仙南、栗原、登米管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第34週採取分 *Campylobacter jejuni* 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第33週採取分 (8.10～8.16)	第34週採取分 (8.17～8.23)	第35週採取分 (8.24～8.30)
RSウイルス	1件	2件	4件
アデノウイルス	1件	2件	0件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	2件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	2件	0件

4. 今週のコメント

【手足口病】

県内全ての保健所管内で患者報告数が警報値を超えています。例年同時期と比較して患者報告数の多い状態が続いており注意が必要です。

【腸管出血性大腸菌感染症】

今週、塩釜、栗原管内で患者報告があり、夏季の流行期は過ぎていますが断続的に患者報告が続いています。予防対策に努めてください。

◆秋冬の感染症対策

秋冬は集団感染を引き起こす感染力の強い感染症が流行する時期です。なかでもインフルエンザやRSウイルスは、せきや鼻水などの飛沫による感染や感染者を介した接触感染によって広がります。県内では先週に比べてRSウイルス患者数が増加しています。感染症から身を守るには、手洗い・うがい等を徹底して予防対策に努めましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kanssen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

